

MACNICA

技術商社の、その先へ。

平成26年3月期 決算説明会

(プレゼン編)

2014年4月28日



目次

- I 2014年3月期の状況
- II 2015年3月期の予想
- III 当社の方向
- IV 利益還元



I 2014年3月期の状況

1 マクニカグループ実績（連結）

2 半導体事業実績（集積回路及び電子デバイスその他）

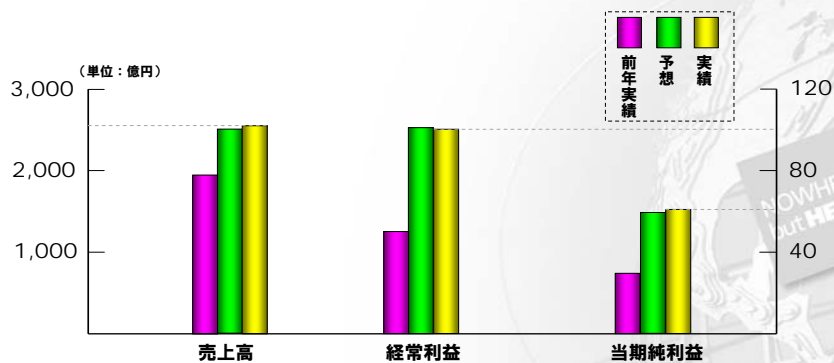
3 ネットワーク事業実績



1 マクニカグループ実績（連結）

I 2014年3月期の状況

① 実績



(単位：億円)

	前年実績 (13/3)	予想 (14/1/27)	実績 (14/3)	前年比	予想比
売上高	1,965	2,520	2,560	30%	2%
経常利益	57	108	106	86%	▲2%
純利益	33	60	64	91%	6%

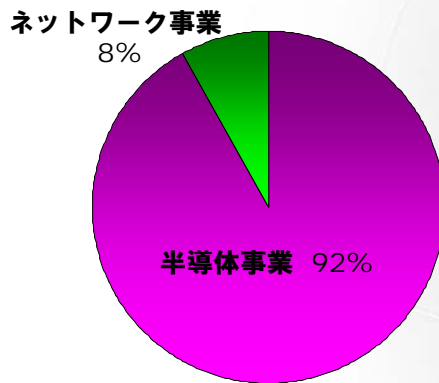


1 マクニカグループ実績（連結）

① 2014年3月期の状況

② 事業別売上高構成比

連結売上高2,560億円



2 半導体事業実績（集積回路及び電子デバイスその他）

① 2014年3月期の状況

① 半期毎売上高推移



② トピックス

売上高2,360億円 前年比+31%

用途

- 車載は、北米を始めとした良好な需要環境に加え、新規ビジネスの立ち上がりなどにより順調に拡大。
- 産業機器は、中国で大きく拡大。
- 民生機器は、コンパクト・デジタル・スチル・カメラが低調に推移したものの、全般的に商権の拡大などが寄与し好調に推移。
- 通信端末は、一部ビジネスの終息に伴い減少。

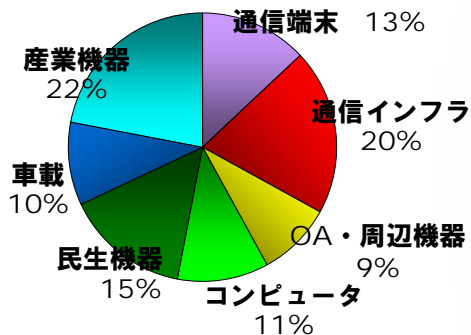
エリア

- 円安の影響及び日系企業の海外への生産移管、アジアローカル市場ともに大きく拡大し、海外売上比率は前年比7%アップの34%から41%へ。



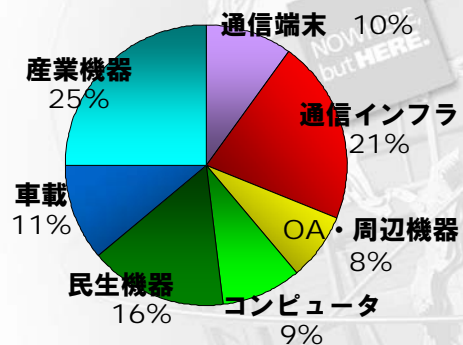
③ 用途別売上高構成比

売上高1,804億円



2013年3月期

売上高2,360億円

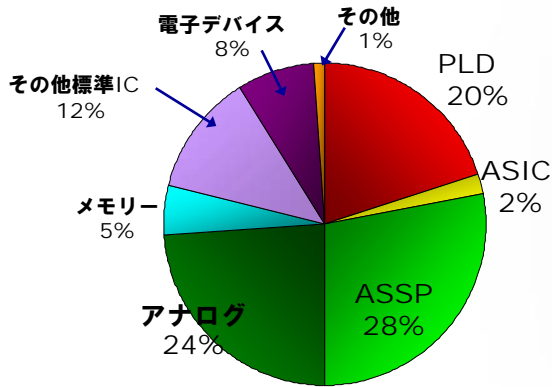


2014年3月期



④ 品目別売上高構成比

売上高2,360億円

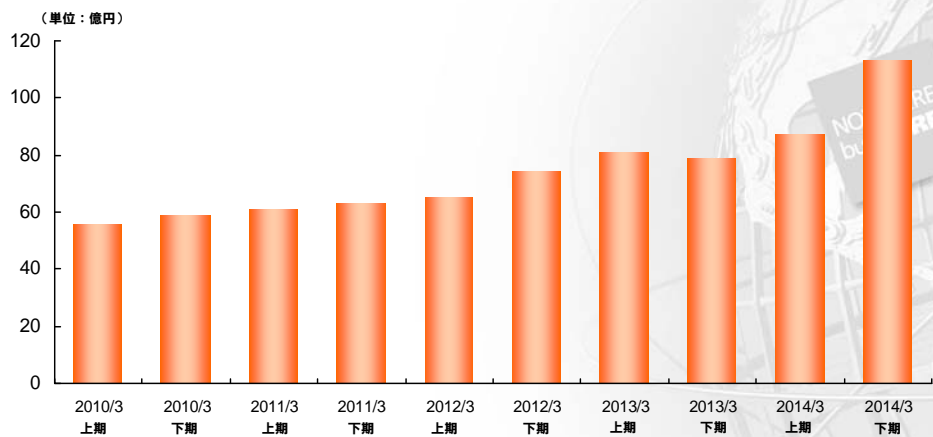


品目別前年比

品目	増減率
PLD	+29%
ASIC	△ 9%
ASSP	+29%
アナログ	+38%
メモリー	+44%
その他標準IC	+26%
電子デバイス	+41%
その他	+27%
半導体事業計	+30%



① 半期毎売上高推移



② トピックス

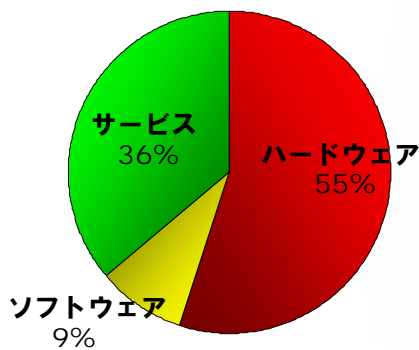
売上高200億円 前年比+24%

- 用途**
- 国内のIT投資需要の回復を背景に、官公庁や情報通信関連企業向けのネットワーク機器やセキュリティ関連機器が拡大。
 - 企業向けのセキュリティソフトウェアが伸長。中でも標的型攻撃を検知するための分析用製品が好調に推移。
 - キャリア向け通信ボードは需要が一巡し減少傾向。



③ 品目別売上高構成比

売上高200億円



品目別前年比

品目	増減率
ハードウェア	+26%
ソフトウェア	+35%
サービス	+20%



II 2015年3月期の予想

1 マクニカグループ予想（連結）

2 半導体事業予想（集積回路及び電子デバイスその他）

3 ネットワーク事業予想



1 マクニカグループ予想（連結）

II 2015年3月期の予想

① 予想

（単位：百万円）

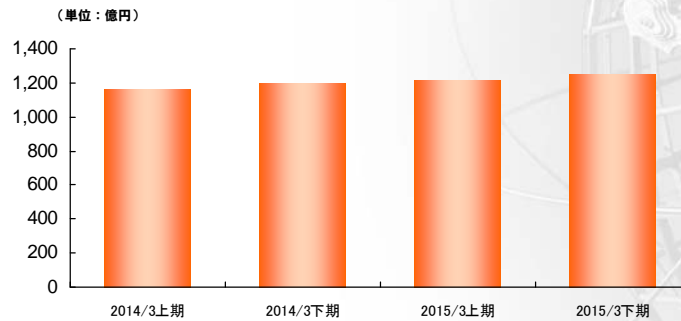
	上期予想	前年比%	下期予想	前年比%	通期予想	前年比%
売上高	132,000	6	138,000	5	270,000	6
集積回路及び電子デバイスその他事業	121,200	5	124,800	4	246,000	4
ネットワーク事業	10,800	24	13,200	17	24,000	20
売上総利益	17,950	8	18,650	9	36,600	9
営業利益	4,890	18	4,910	14	9,800	16
経常利益	4,780	△14	4,820	△4	9,600	△10
当期純利益	3,015	△20	3,045	15	6,060	△5



① 半期毎売上高推移

海外経済の持ち直しや国内経済政策を受けて回復基調

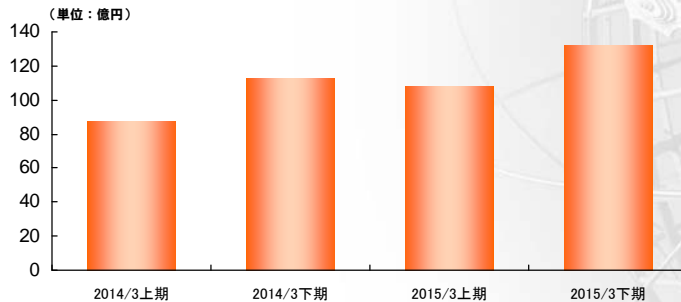
- 通信インフラ市場は、設備投資の需要増により堅調に推移する見込み。
- 産業機器市場は、中国市場のインフラ投資持ち直しを背景に回復予想。
- 車載市場は、需要増や新規ビジネスの立ち上がりにより伸長する見通し。



① 半期毎売上高推移

セキュリティ市場は引き続き拡大傾向

- 官公庁や企業のセキュリティニーズは引き続き高く、セキュリティ関連機器やソフトウェアは好調を持続する見通し。
- クラウドサーバー向けのネットワーク機器やセキュリティソフトウェアは堅調に推移する見通し。



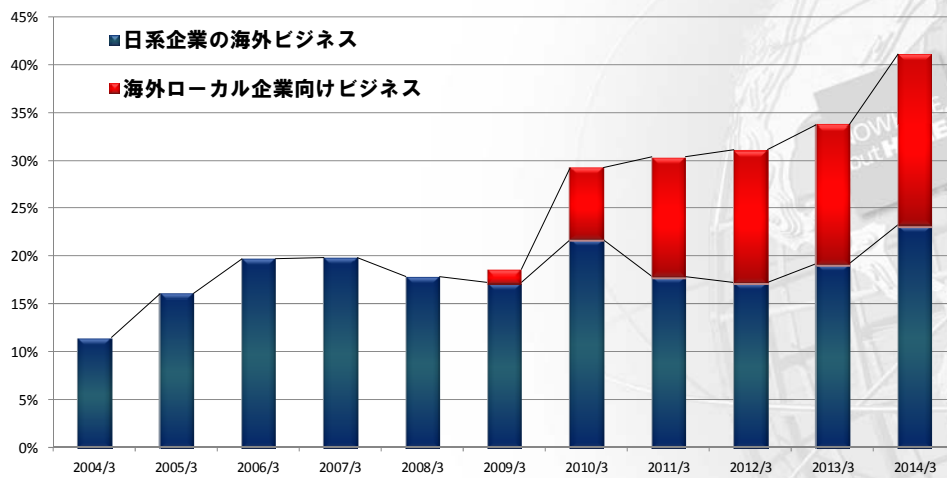
III 当社の方向



III 当社の方向

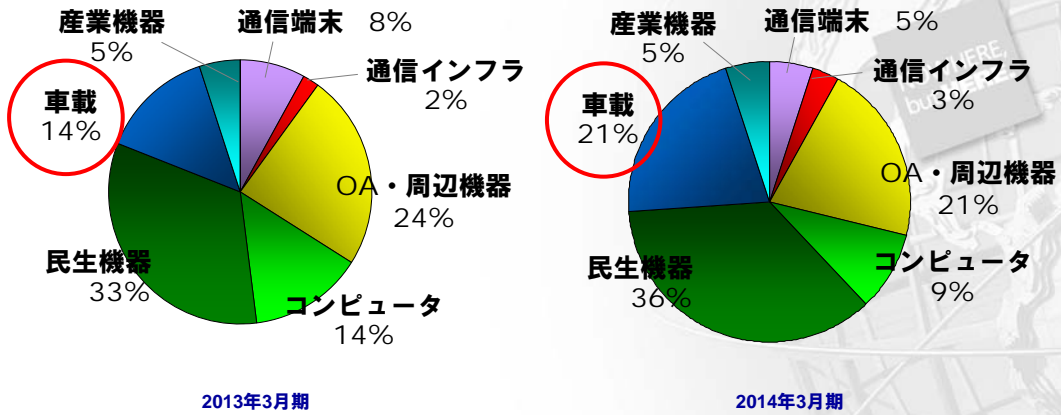
① グローバルへの展開

● 海外売上構成比率推移



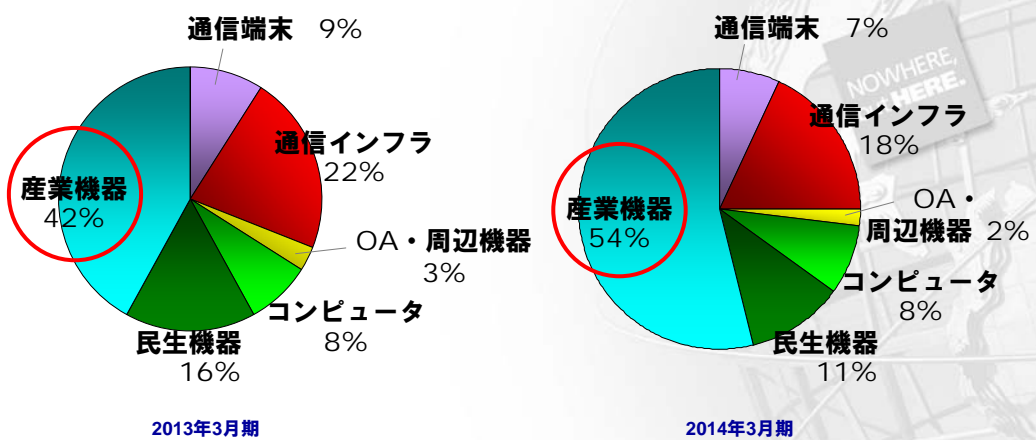
① グローバルへの展開

● 用途別売上高構成比【日系企業の海外ビジネス】



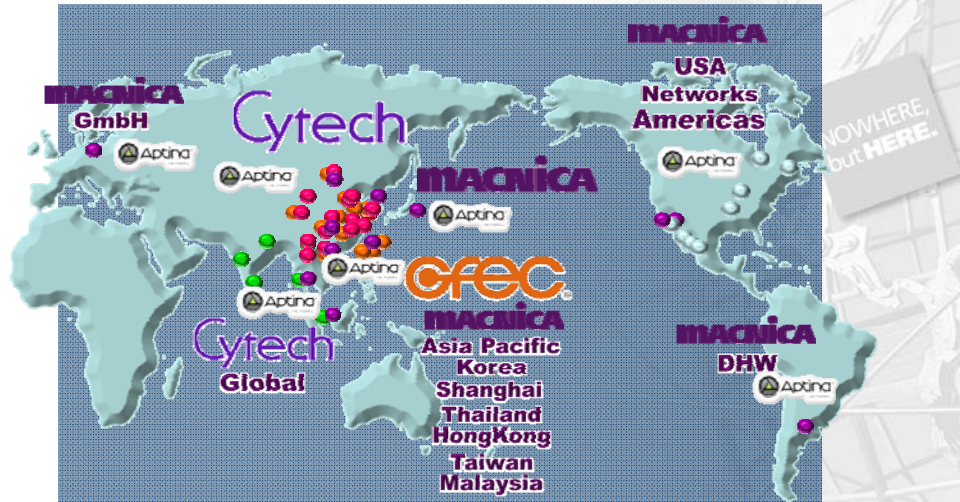
① グローバルへの展開

● 用途別売上高構成比【海外ローカル企業向けビジネス】



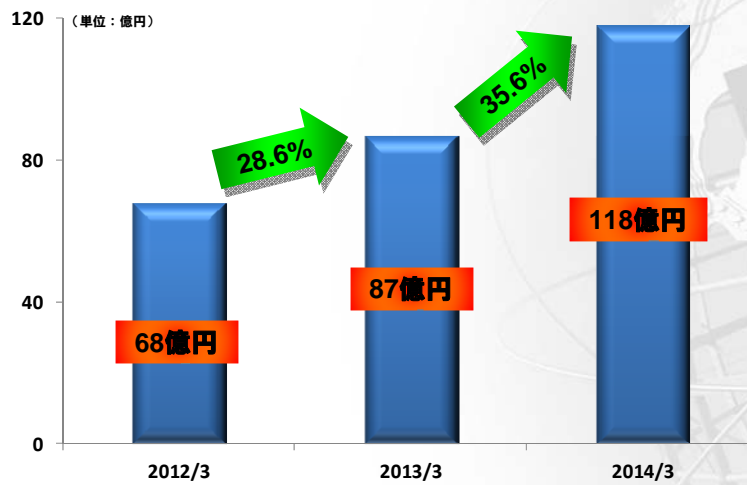
① グローバルへの展開

● 取扱商品のグローバル展開



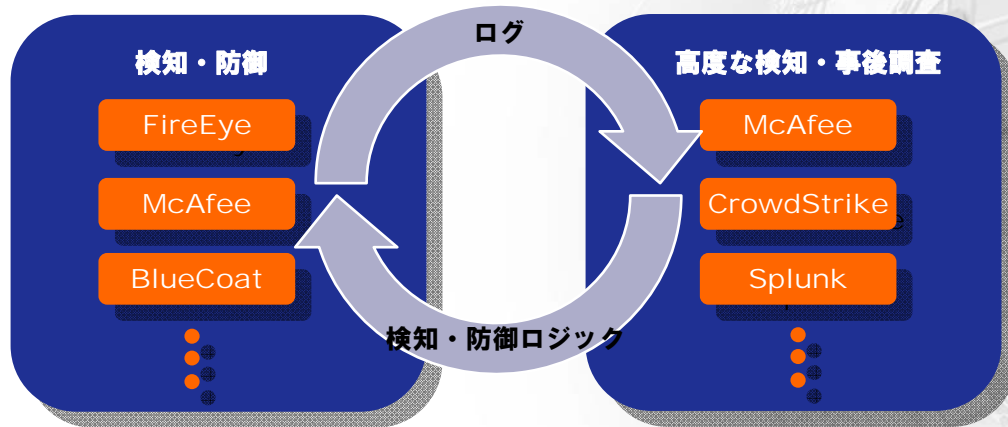
② セキュリティソリューションの強化

● セキュリティ関連事業の成長率



② セキュリティソリューションの強化

● 標的型サイバー攻撃への対策



IV 利益還元

配当について

● 配当方針

株主尊重・株主重視を経営の重要事項と位置付け、利益還元については、将来の事業展開と経営体質を強化するために必要な内部留保を勘案しつつ、業績に応じて安定的かつ継続的に実施することを基本方針としております。

● 配当予想

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	20.00	20.00	40.00
26年3月期	30.00		
26年3月期（予想）		30.00	60.00

